

# まちかどピックス

冬が来る前に雪合戦



▲かまくらで遊ぶ子どもたち

南あわじ市雪まつり

雪が降ることが少ない南あわじ市の子どもたちに雪の感触を体験してもらおうと十一月二十五・二十六の両日、「第二回南あわじ市雪まつり（同実行委員会主催）」が淡路ふれあい公園で開催され、子どもたち三千人が雪合戦やソリ遊びを楽しみました。  
公園内の芝生広場は、前日から降雪機で合計六十トンの氷を削って雪を降らせて、雪景色に。子どもたちは広場の雪合戦や宝探しに夢中になり、二つのかまくらでは、ぜひんざいを楽しみました。斜面を利用して作られたソリ遊びコーナーでは、三本のコースが設けられ、歓声をあげながら何回も滑り下りていました。

ステージでは、斉藤勝巳実行委員長のあいさつなどに続き保育園児らによる「はばタンドランス」があり、サンタクロース姿のスタッフからプレゼントが贈られました。

卓球のスター選手が直接指導

ふれあいスポーツ教室を開催

島内のスポーツ団体の交流を図る「スポーツクラブ21ひょうご淡路地区交流フェスティバル ふれあいスポーツ教室」が、十二月十日、文化体育館で行われました。  
プロ卓球選手の四元奈生美さんを迎えて講演会と卓球教室などが行われ、二百人が参加しました。  
四元さんは中国リーグ北京チームに所属し、国内外で活躍を続けるスター選手。参加者からの熱いまなざしを受けながら、精神面・技術面でレベルアップを図る方法などを丁寧に指導しました。

直接指導を受けた子どもたちは「憧れの選手から教わりうれしかった」などと喜んでいました。  
別会場での指導者研修では、B&G財団の大関真理子さんを迎えて、寝たきり予防



▲四元さんの卓球指導

運動や健脚度測定などが紹介され、熱心に学んでいました。



▲伝統芸能を継承する団体代表者を交えたパネルディスカッション

伝説芸能「よめこひつら・まちひつら

淡路人形協会がシンポジウムを開催

淡路人形浄瑠璃の普及と後継者育成などの現状と課題を語り合おうと、(財)淡路人形協会（中田勝久会長）は十二月八日、「伝説芸能によるひとづくり・まちづくりシンポジウム」を緑市民センターで開催しました。  
シンポジウムには関係者約百人が出席。淡路人形浄瑠璃のファンを島内から増やそうと、文化庁の補助を受けて平成十六年度から島内小中学校

や公民館への出張講座や夏休みの淡路人形座バックステージツアーが行われています。同協会理事の上居宏次さんから「これらの活動によって、約五千人が人形浄瑠璃を見てくれました。徐々に島内の方も淡路人形座へ訪れていきます」と基調報告がありました。  
続いてのパネルディスカッションでは、地域や学校、職業、ボランティアとして伝統文化の保存・継承に取り組んでいる団体の代表者から活動の現状と課題が報告され、議論を交わしました。

淡路人形座特別公演

淡路人形座（坂東千秋支配人）の秋の特別公演が十一月二十五日、三原公民館で開催され、五百人が人形浄瑠璃を堪能しました。

この日は、淡路人形浄瑠璃館（福良）で上演している同座員が「忠臣蔵」を出張公演。重要無形文化財「義大夫節三味線」保持者（人間国宝）の鶴澤友路さんも人形芝居「祇園一力茶屋の段」に特別出演しました。また素浄瑠璃で「殿中刃傷の段」

人間国宝の鶴澤友路さん出演「本蔵下屋敷の段」が上演されました。  
素浄瑠璃上演後には、自宅前などへ同座員が向向き「戎舞」を演ずる「門付けえびす」が抽選で一人にプレゼントされました。

同座では、出産や還暦、上棟式、豊漁、祝賀会などで幸福や繁栄を祝う「戎舞」や天下泰平、長寿円満を祈る「三番叟」を出前公演し、合わせて伝説芸能の普及を図ります。ご希望の方は、同館 ☎



▲淡路人形座による忠臣蔵「祇園一力茶屋の段」

52・0260へ。

## 一人暮らしの高齢者へおいしいお餅を 愛のもちつき大会

お正月を迎える一人暮らしの高齢者にお餅を配ろうと、12月10日、松帆活性化センターで「愛のもちつき大会」が開催されました。西淡地区の民生・児童委員と三原第4団カブスカウト隊、子どもの居場所づくりの子どもたちら60人が320人分、2,400個のお餅を作りました。

「元気にいつまでも長生きしてください」などと書かれた子どもたちからの手紙も添えられ、民生・児童委員により西淡地区の高齢者宅に配られました。



▲餅をつく子どもたち

## おぼれかけた子どもを救助 岡島さんにのじぎく賞

海でおぼれかけた少女2人を助けた岡島大祐さん（沼島）に11月29日、沼島出張所で兵庫県のじぎく賞が伝達されました。

岡島さんは、10月14日午後3時ごろ沼島漁港近くの船上げ場の斜面で、首まで海につかった保育園児と小学2年の児童を発見。早く上がるよう声をかけたところ「たすけて。足がすべって上がれない」との返事に、即座に着衣のまま海へ入り、二人の手を引いて陸上へ引き上げました。



▲のじぎく賞を受ける岡島さん（右）

地域の催しや明るい話題などがございましたら、気軽に広報係までご連絡ください。  
☎43・5003(情報課)

おめでとう

阿万上町青年団が全国民俗芸能大会に出場



▲熱唱する阿万上町青年団（12月7日、萬勝寺での「淡路巡選辨財天 奉迎大祭」）

阿万上町青年団が、第五十六回全国民俗芸能大会（十一月二十五日、東京）に出演しました。

同青年団員の十九人が日本青年館で得意のだんじり唄「増補忠臣蔵 赤垣源蔵徳利の別れの段」を披露しました。

吾郷尋恵さんに体育指導委員全国表彰

南あわじ市体育指導委員の吾郷尋恵さん（広田）にこのほど、全国体育指導委員連合会長から功労者表彰



▲吾郷さん

が贈られました。  
吾郷さんは、平成三年緑町体育指導委員に就任。平成十六年から県体育指導委員理事も務め、現在、南あわじ市体育指導委員副委員長兼女性部長として、スポーツ振興に貢献されています。

船越靖市さん、阿部茂幸さんに感謝状

長年、全国体育指導委員会の一般賛助会員として貢献した船越靖市さん（北阿万）と阿部茂幸さん（沼島）にこのほど、全国体育指導委員連合会長から感謝状が贈られました。

東幸雄さんに体育指導委員功労者表彰

南あわじ市体育指導委員の東幸雄さん（志知）に県体育指導委員功労者表彰が贈られました。東さんは、平成八年西淡町体育指導委員に就任、合併後も同委員として活躍されています。

